

## 第2回 一般国道185号 呉市仁方地区みちづくり協議会の開催 『広～仁方間のルート帯(案)の検討等を行いました』

『第2回 一般国道185号 呉市仁方地区みちづくり協議会』が、以下の通り開催されました。

- 日 時 : 平成17年10月3日(月) 14:00~16:00
- 場 所 : 呉市 仁方公民館(仁方支所3階) ホール
- 出席者 : 協議会委員12名 協議会事務局 約20名
- ※ 協議会委員長: 藤原章正教授
- ※ 委員変更: 今回より広島県広警察署 交通課課長 渡邊 敏氏から  
同 佐賀 剛氏へと変更になりました。

### ■ 第2回協議会での検討事項

10月3日(月)に行われた『第2回 一般国道185号 呉市仁方地区みちづくり協議会』では、以下の内容について活発な意見交換が行われました。

#### ▼ 第2回協議会 検討課題

- 1) 第1回協議会でのご意見について
- 2) ルート帯(案)について
- 3) 一般国道185号呉市仁方地区における  
道路整備の比較評価について
- 4) 住民意見の聴取方法について



▲ 第2回 みちづくり協議会の様

### 一般国道185号呉市仁方地区みちづくり協議会(第2回)の内容

今回の協議会では、以下のような内容について議論を行いました。

### ■ 議事内容等

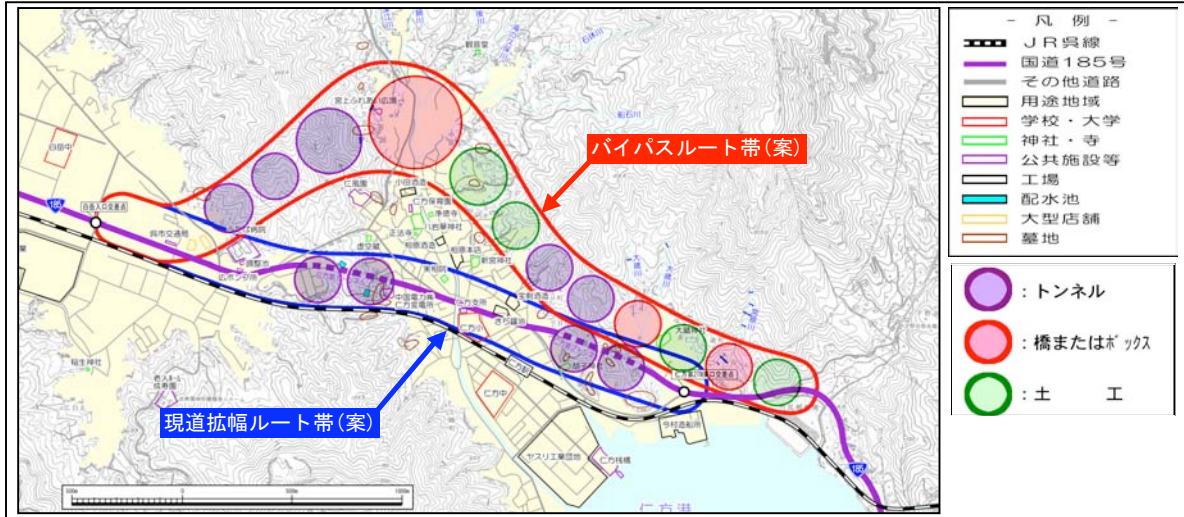
#### ○ 第2回協議会での決議事項について

- ・ 前回の協議会の意見を受けて、コントロールポイントに酒蔵、醤油等の地場産業施設等を追加しました。

(コントロールポイントは、学校、神社、仏閣、集落の密集地、公共施設、地場産業施設等)

- ・ 比較ルート帯(案)については、仁方地区の集落を避けたバイパスルート帯、一般国道185号を拡幅するルート帯の2案を検討する。
- ・ ルート帯(案)の比較は、利便性、安全性、沿道環境、地域活動への影響、事業性の5項目で評価する。
- ・ 地域住民の方からの意見聴取の方法は、アンケートとワークショップ形式で行う。

▼ ルート帯(案)比較検討図



▼ ルート帯(案)の比較評価表(事務局案)

| 項目    | 現道拡幅案の評価  | バイパス案の評価  |
|-------|---|---|
| 利便性   | <ul style="list-style-type: none"> <li>トンネル付近で上下線分離が生じ利便性が悪くなる箇所がある。(△)</li> <li>通過交通は仁方地区の発着交通と混在し、仁方地区内の各差点の影響を受けるのでバイパス案に比べ利便性は劣る。</li> <li>ゆとりある歩行空間が確保される。(○)</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>現道の渋滞が解消され、仁方地区の発着交通の利便性が良くなる。(○)</li> <li>通過交通はバイパス利用により仁方市街部を通過する必要のため、走行性がよくなり利便性が良くなる。(○)</li> </ul>           |
| 安全性   | <ul style="list-style-type: none"> <li>トンネル付近で上下線分離が生じ交差点形状が複雑となり、バイパス案に比べ安全性に劣る。(△)</li> <li>車道部が拡幅され交差点が大規模なものとなるため、歩行者・自動車の接触事故等があまり減らない。(△)</li> </ul>                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>現道の交通量が減少する上、バイパスには交差点がない安全性が向上する。(○)</li> <li>通過交通がバイパスに転換されるため、現道の歩行者・自らは、安全な通行が可能となる。(○)</li> </ul>             |
| 沿道環境  | <ul style="list-style-type: none"> <li>渋滞解消と速度改善による自動車からの排出ガス減少が期待されるが、道路を通過する交通は減少しないため、又繁華部で現道の沿道環境は改善されない。(△)</li> <li>周辺自然環境等に大きな影響を及ぼさない。(○)</li> </ul>                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>通過交通がバイパスに転換され、現道の沿道環境の改善が待出来る。(○)</li> <li>新たな沿道への環境配慮、周辺自然との調和に配慮が必要。(△)</li> </ul>                              |
| 地盤動の響 | <ul style="list-style-type: none"> <li>トンネル付近で上下線分離が生じ、中心地区のコミュニティ要素となる。(△)</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>通過交通がバイパスに転換され、現道の地域内道路として割が増す。(○)</li> <li>極力バイパスが地域の分断要素とならないようにする配慮要。(△)</li> <li>地下水の保全に配慮必要となる。(△)</li> </ul> |
| 事業性   | <ul style="list-style-type: none"> <li>段階整備であっても渋滞緩和の効果が期待できる。(○)</li> <li>現道を供用しながらの施工となるため、施工性は悪い。(△)</li> <li>事業費は約100億円程度</li> </ul>                                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>現道交通への影響が少なく、施工性に優れる。(○)</li> <li>事業費は約90億～110億円程度</li> </ul>  |

○ その他議事内容について

- バイパス案については、今後、バイパスへのアクセス道路や、歩道の必要性について検討を進める。
- ルート帯(案)は、今後、住民の方の意見等を伺いながら、比較評価の検討を進める。

■ 協議会委員からの主な意見等

- 道路整備による交通の流れの変化についても考慮し、道路整備方針を決定する必要がある。
- 道路整備の方針は、仁方地区の住民の意見を十分に取り入れて検討する必要がある。

■ 今後の展開

一般国道185号呉市仁方地区みちづくり協議会では、住民の皆様方の幅広いご意見をお伺いするため、アンケートの実施や、ワークショップの開催を行います。詳細が決まり次第、呉市広報等でお知らせします。

■ 一般国道185号呉市仁方地区みちづくり協議会についてのお問い合わせは

〔事務局〕

- 呉市 都市交通推進室 : 【TEL】 0823-25-3239 ; 【担当】 はしまい 濱井, はしむら 橋村
- 広島国道事務所 調査設計第一課 : 【TEL】 082-281-4131 ; 【担当】 たけうち 武内, きうち 木内

※ 本協議会の議事内容などがわかるホームページを立ち上げました。

<http://www.hirokoku-mlit.go.jp/michi-kyougi/index.html>